

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年6月10日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 その他 : 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	主蒸気タービン中間止め弁及びインターセプト弁用制御箱(#3,4弁:予備品)の工場点検時、ピストンロッド締付トルク値に低下が認められたため、当該締付部の調整金具を交換。	G	
2	1号機	自動減圧系用窒素ガスポンペ(A)において、元弁フランジ部に微少漏れ(10本中1本)が認められたため、当該弁を補修。	G	
3	1号機	炉心性能計算機購入に伴う工場立会検査において、LPRM(中性子計装系局部出力領域モニタ)較正電流計算結果帳票のデータに欠落(2枚中1枚)が認められたため、当該検査不合格、対応検討。	G	
4	3号機	復水系復水ポンプ(A)電動機冷却水用フローグラスにおいて、ガラスに傷が認められたため、対応検討。(使用に問題なし)	G	
5	3号機	復水系復水ポンプ(C)電動機冷却水用フローグラスにおいて、ガラスに傷が認められたため、対応検討。(使用に問題なし)	G	
6	4号機	計装用圧縮空気系圧縮機(B)点検後の試運転時、シリンダ(#1)の吸い込み弁に動作不良が認められたため、当該吸い込み弁を点検補修。	G	